

日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2020.4.23 No.370

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://yamadakohei.jp>

新型コロナウイルス対策のさらなる拡充を 寄せられた要望受け2度目の緊急申し入れ



杉並区議団アンケート

インターネットでもアンケート回答を受け付けています。

回答は以下 URL、または右の QR コードからお願いします。

<http://jcp-suginami.org/site/answer/?no=9>



4月17日、党杉並区議団は杉並区に対し「新型コロナウイルス感染症対策の抜本的強化を求める緊急の申し入れ(第2次)」を行ないました。申し入れ内容は、

- 医療、検査体制の充実について
- くらしと営業、雇用について
- 子育て、高齢者、障害者など福祉分野について
- 情報提供などについて

等の17項目で、区議団アンケート等に寄せられた要望を反映し、さらなる対策の拡充を求めています(詳細は区議団ホームページに掲載)。

申し入れ文書と共に、この間取り組んでいる「新型コロナウイルス感染症対策」杉並区議団アンケートの中間まとめを杉並区に届けました。引き続き、みなさんから寄せられた声を行政に届け、対策拡充に全力で取り組みます。

アンケート結果と共に提出

新型コロナの影響でお困りの時には

新型コロナの影響での対策の一部を紹介します。みなさんからのご相談も受け付けています。

■自宅待機や解雇といわれたら

会社の指示で休業する場合、休業手当(平均賃金の6割以上)が受け取れます。緊急事態宣言でも、自宅勤務や他の業務に就かせる努力がないと支払い義務はなくなりません。

■国民健康保険料の免除等

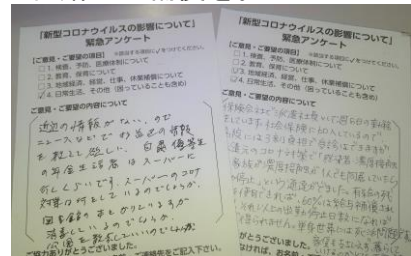
対象は主たる生計維持者の収入が前年比で3割以上減った世帯。(前年の合計所得が1千万円超の場合などは除外)減収は、1~3月の実績を12カ月分に引き延ばす等の“見込み”で、各自治体が判断します。

■生活福祉資金貸付制度

休業された方向けの緊急小口資金と、失業された方向けの総合支援資金があります。両方で最大80万円まで、非正規雇用でも借りることができます。

区議団アンケートに寄せられた声

- ゆうゆう館で活動していましたが、元気な高齢者は楽しいことをやりたい。施設の休館で気力、体力がなくなります。
- 一斉休校の杉並の対応もひどかったです。学校の何倍も密度の高い学童に対する危機感がまるで感じられませんでした。
- マスク、消毒液が全く手に入らない。
- 中小業者へ緊急融資等、支援策の拡充を。
- 検査件数が少なすぎる。早急に対応を。
- 自粛には補償を。



アンケート中間まとめは区議団ホームページに掲載しています。

区内医療機関支援と新型コロナウイルス対策拡充のための補正予算を可決

(仮称) 発熱外来センターの設置へ

基礎自治体の責務を果たし 区民の命と生活を守るために

4月20日に開催された区議会臨時会で、新型コロナウイルス感染症対策に係る補正予算が提案され、賛成多数で可決されました。

党区議団は「本来、国や都の責任で医療体制の拡充、医療機関への支援を行うべきだが、遅々として進んでいないなかで区独自の対策を行う姿勢は重要」とし、今後も財政調整基金（税金の貯め込み）は、区民の命と生活を守るために活用するよう求めました。



志位和夫 @shikazu
杉並区ではコロナ対応病院に対し、減収分の補填として「1病院あたり月1～3億円」を助成する方針を打ち出した。コロナ患者の受入れ先となる病院は全国で1000超。単純計算でも全国で年間1～3兆円規模の予算が必要だ。政府案の「1490億円」では桁違いに少ない。医療崩壊阻止へ財政補償を！

午前10:42 · 2020年4月19日 · Twitter Web App

1,122 リツイート 1,953 いいねの数

志位和夫委員長のツイッターでも紹介。国の財政補償の必要性を訴えている。

また、税金投入においては、厳格な支給と外部有識者による厳しい監査が求められること、監査の方法や結果については区民が納得できるように、透明性を担保して行なうことを強く求め、議案には賛成しました。引き続き、国・都に対しては、医療機関への財政補償を抜本的に拡充するよう強く求めます。

4月30日にも臨時会開会予定 「特別定額給付金（仮称）」審議

4月30日（木）にも臨時会が予定されています。提案予定の議案は、一人につき10万円を給付する「特別定額給付金（仮称）」等です。詳細は総務省ホームページの特別定額給付金（新型コロナウイルス感染症緊急経済対策関連）をご覧ください。

新型コロナウイルス対策に係る補正予算の概要

■入院・外来体制強化補助事業（22億2,900万円）

感染患者の受け入れによって他の診療・入院の受入縮小を余儀なくされることによる収入の減少、病床増設や「(仮称)発熱外来センター」設置による支出増加の減収分を助成。(4月～6月)

■医師確保支援事業（5,060万円）

(仮称)発熱外来センターでの診療を、診療所等から派遣された医師がローテーションで担うため、各診療所等に助成。

■感染症対策に係るマスク等の購入（1億5,678万5千円）

窓口対応職員、医療機関、福祉施設へのマスク、手指消毒剤、防護服などの物品購入費。

■帰国者・接触者電話相談センター拡充（2,738万7千円）

相談件数増加に対応するため、電話回線を3回線から10回線に拡大。人員を3名程度から13名に増員。

■自宅待機者の健康観察用バイタルナビ購入に係る経費（103万9千円）

軽症者で自宅待機者へ貸し出す血中酸素濃度測定器「パルスオキシメーター」100個購入。

■商工相談体制の拡充（664万3千円）

融資相談に対応する中小企業診断士の増員、特別融資に対応する職員の増員。電話機の増設。

■発注済み給食食材費の補てん（358万8千円）

区立学校の給食食材納入事業者に対し、発注済み給食食材費の補てん。

■区職員への特殊勤務手当の支給（360万円）

感染患者に対応する業務を担う区職員への特殊勤務（防疫等業務）手当を支給。

今週のコマ

今年度も幹事長に

新型コロナウイルス感染拡大により、前例の無い議会対応が行なわれているなか、今年度も党区議団幹事長を務めることになりました。全力で頑張ります。

(注) 「(仮称)発熱外来センター」は、「杉並区帰国者・接触者電話相談センター(電話:03-3391-1299)」に電話のうえ、感染が疑われると判断された方を対象に診療します。予約なしでは受診できません。平日の夜間と休日は、「新型コロナ受診相談窓口(帰国者・接触者電話相談センター)電話:03-5320-4592」へご連絡ください。